令和５年度　第５回

宍粟市教育委員会

会　　議　　録

（要点筆記）

日時　　令和５年８月17日　午前９時30分から

場所　　宍粟市役所　４階　402・403会議室

第５回（定例）宍粟市教育委員会会議録

●　開会・閉会の年月日時及び場所

令和５年８月17日（木）　午前９時30分～10時45分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地６　宍粟市役所　４階 402・403会議室

●　会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人	教育長		
片山繁樹	委員	金本一二	委員
飯田さおり	委員	中川まゆみ	委員

事務局

大谷奈雅子	教育部長	小河秀義	教育部次長
大砂正則	次長兼教育総務課長	中田　吏	学校教育課長
小池信仁	こども未来課長	岡内由里	こども未来課長（指導担当）
水口恵子	社会教育文化財課長	西林文隆	次長兼施設整備課長
大北真彰	山崎学校給食センター所長	中尾善弘	次長兼まちづくり推進課長
梶原昭一	人権推進課長	岩本浩二	教育総務課副課長
西川晋也	秘書政策課長		

１　開会

中田教育長が開会した。

２　会議の成立宣言

出席者数５名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

３　会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、金本委員に決定した。

４　前回会議録の承認

令和５年度第４回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

５　教育長報告

次の４点について、中田教育長が報告した。

（１）　９月議会に上程する条例・補正予算について

９月議会への上程する条例・補正予算について、この後、担当課から説明する。

（２）　「性の多様性」に関する理解促進と教育実践研究事業について

国においては、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律が議員立法により成立し、これらのことに対する正しい理解が求められる中で、教育委員会においても、全ての子どもが安心して楽しく学校生活を送れるよう、性の多様性等について理解を深めるとともに必要な対応をしていくため、５月に性の多様性に関する検討委員会を設置している。今後、この委員会で検討を重ねる中で、年度末には、学校園所における性の多様性について教職員の理解や指導の在り方について、まとめたいと考えている。

（３）　文化財保存活用地域計画策定協議会について

文化財保存活用地域計画を策定すべく準備を進めている。６月の教育委員会でも少しふれたが、８月に協議会の設置要綱を定めて協議を進めていきたいと考えており、この後担当から説明する。

（４）　学校給食費に関する意見について

６月23日から７月18日にかけて、保護者のみなさまへチラシを配布し、ご意見を受け付けましたが、様々なご意見がありましたので、この後、担当より報告する。

６　議事

議事に入る前に、中田教育長から、第６号議案及び第７号議案については、意思形成の中立性の観点等から非公開としたい旨の説明があり、委員全員「異議なし」であったため、非公開審議と決定した。なお、第６号議案及び第７号議案の審議は、「７　協議報告事項」の終了後、行うこととした。

第５号議案　令和６年度使用　学校教科用図書の採択について

資料１～20Ｐにより、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条及び第13条の規定による学校教科用図書を採択すること、及び学校教育法附則第９条の規定による特別支援学級における教科用図書を採択すること、あわせて、本年度が小学校の教科用図書の採択替えの年度であることからその選定結果等について、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

審議の結果、第５号議案は、提案どおり可決した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（中田教育長）

小中学校の教科用図書については４年ごとに採択替えがあり、19ページの資料がスケジュールについてわかりやすく整理されているので参考にされたい。

また、今年度は小学校教科書の採択替えの年にあたり、赤穂市がその事務を担当しているが、来年度は中学校教科書の採択替えの年にあたり、宍粟市がその事務を担当する

予定となっている。

７　協議報告事項

（１）　宍粟市における小中一貫教育に係る取組と今後の予定について

資料１【33～37Ｐ】により、中田学校教育課長が説明した。

（２）　令和５年度「性の多様性」に関する理解促進と教育実践研究事業　第２回しそう「性の多様性」検討委員会について

資料２【38～43Ｐ】により、中田学校教育課長が説明した。

（３）　数学・理科甲子園ジュニア2023について

資料３【44～47Ｐ】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（片山委員）

山崎南中学校区の小中一貫教育については、学校規模適正化との兼ね合いもあり、各学校の意見を集約して調整を図るとのことで理解した。

また、性の多様性の研究事業についても、大変有意義な事業だと思うので、苦労があるかと思うが頑張っていただきたい。

そのほか、全国学力学習状況調査の結果を受け市の調査研究についても熱心に取り組んでいただいているが、教員の負担について少し心配している。業務がビルドアンドビルドになっているように思うのでスクラップしていくことも大事かと思う。

（中田学校教育課長）

最近では、小中の連携・中高の連携が推進されていることを踏まえ、例年行っていた小中高合同の研修会を廃止した。今後も、教員の負担等を考慮し、スクラップできる事業・業務について検討していきたい。

（４）　宍粟市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱の制定について

資料４【48～49Ｐ】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

（５）　宍粟市文化財保存活用地域計画策定協議会委員の委嘱について

資料５【50Ｐ】により、水口社会教育文化財課長が説明した。

（６）　給食費保護者意見のとりまとめについて

資料６【51～61Ｐ】により、大北山崎学校給食センター所長が説明した。

（７）　令和５年度第３回人権文化をすすめる学習会について

資料７【62Ｐ】により、梶原人権推進課長が説明した。

（８） その他

・ふれあい移動動物園について

当日配布資料により、９月２日開催のふれあい移動動物園について、梶原人権推進課長が説明した。

・旧野原小学校を活用したアウトドア活動拠点施設の設置の検討について

当日配布資料により、旧野原小学校を活用したアウトドア活動拠点施設を整備しない方針を決定したこと、また、引き続きビジターセンターの設置に向けて検討を続けていくことについて、西川秘書政策課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（中田教育長）

活動拠点施設の整備を見合わせ、ビジターセンターの設置を引き続き検討していくとのことだが、宍粟市アウトドア活動推進計画のなかで現在行われている事業にはどのようなものがあるのか。

（西川秘書政策課長）

一宮町北部のまほろばの湯エリアでは、この４月からオートキャンプ場を開設しているほか、千種町のちくさ高原エリアのクリンソウ散策道の近くでは遊歩道を活用したマウンテンバイクコースを開設し、波賀町の楓香荘跡地については施設の撤去工事を行い今後は休憩施設の整備を計画している。

また、宍粟市がアウトドアのメッカになっていくためイベントを通じてＰＲをしていこうということで、音水湖・氷ノ山・自転車の３つを合わせたイベントをモンベル社と企画しており、令和６年度に開催できるよう準備を進めている。

● 非公開議事

「６　議事」の第６号議案及び第７号議案の審議に入る。

第６号議案　令和５年度宍粟市一般会計９月補正予算（教育委員会関係）案について

[redacted]

第７号議案　宍粟市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案について

[redacted]

[redacted]

８　次回会議の招集について

令和５年９月15日（金）午前９時30分から、宍粟市役所４階402・403会議室において、令和５年度第５回宍粟市教育委員会を開催することとした。

９　閉会

片山委員が閉会した。